

3類型	鉱工業品の生産に係る技術	通巻番号	4-19-003
地域資源名	伊賀焼	認定日	平成19年10月12日
地域	三重県名張市、伊賀市	所管省庁	経済産業省

事業名:伊賀焼の特長である「呼吸する土」と呼ばれる陶土や焼成技術を活かした熱源の多様化に対応する新陶製調理器群～「温・故・値・新」シリーズ～の製造・販売事業

会社名:長谷製陶株式会社

所在地:三重県伊賀市丸柱569

連絡先:TEL:0595-44-1511
FAX:0595-44-1001

H P: <http://www.igamono.co.jp>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・伊賀焼は、古琵琶湖層の粘土の特徴により耐熱、耐火、多孔質性、吸水性に優れた特長を有しており、古来、陶製調理器の産地であったが、海外産普及等により、他の産地同様停滞縮小傾向にあった。
- ・現会長(7代目当主)は、市況が低迷する中で、産地の原点に立ち返り、「作り手こそ、真の使い手であれ！」の考えのもと「用・美・楽」をコンセプトに使いやすく、美しく、楽しい調理用陶器を追求し、「生活の場で使ってもらえる陶器」を作ることに邁進。
- ・本事業では、多様化する熱源(ガス・IH・電子レンジ・カセットコンロ等)に対応するとともに、気軽に安全で楽しく「蒸す、焼く、煮る、燻す」の調理ができる機能性を持った製品群～「温・故・値・新」シリーズ～の製造、販売を行う。
(「温・故・値・新」...古きよきものをあたたためて、新しい価値を創造する...)



【7代目当主】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・「温・故・値・新」をコンセプトとして、伊賀焼の特徴<呼吸する土>を最大限に活かした10種類の新たな商品群。
- ・会長自らの家族との食卓の団欒を出発点とした利用者視点を重視し、ライフスタイルに沿った熱源への対応。

◆市場性

- ・通販会社、購入者からの声やガス機器メーカーとの連携によるニーズに応える商品開発。
- ・比較的高額商品であるが、一部が損壊しても使えるようパーツの別売りなどアフターサービス面での対応を充実。
- ・オール電化など拡がりをみせる熱源市場に対応。

◆販路

- ・直販、通販、ギフト市場に加え、ガス機器メーカー等との共同販売の拡大、有名百貨店でのキッチン売り場への売り場改革。

地域資源における関係事業者との連携

- ・産地の活性化と量産化に向け、産地の同業者に技術指導を行い、一部を生産委託。また、三重県科学技術振興センター窯業研究室、三重県等と連携して実験データを積み上げ実用化を図る。



【ヒット商品かまどさん】



【電子レンジ対応炊飯土鍋
『陶珍かまど』】